



このワークショップでは・・・

2022年度から芹ヶ谷公園の成り立ちや取り巻く環境について学ぶ場の開催と、
緑をキーワードとした芹ヶ谷公園でやりたいことをみんなで考え・実践するワークショップを実施しています！

第1回では緑に関する勉強会や、講師の解説を交えたフィールドワークを行い、樹木について学びました。
また、樹木の皮むき作業を通じて、間伐作業のお手伝いも行いました。



1. 緑について学ぼう！

- ▶ 芹ヶ谷公園と周辺の緑は、「里地・里山」の環境です。
- ▶ 人の手が入ることで生態系・景観等が保全され、持続可能な環境が形成されてきました。
- ▶ 芹ヶ谷公園では現在、十分に手入れがされないまま時間がたち、公園としては危ない環境となっています。
- ▶ 緑を大切にしつつ、公園としての機能も果たせる場所にするため、維持管理を行うことが必要です。
- ▶ また町田市内にある玉川学園では、「木の輪＝Mokurinを広げて、人の輪を広げることが未来の地球環境をよくする」という考えを元にTamagawa Mokurin Projectに取り組んでいます。



ナラ枯れ被害のコナラ



3. 樹木の皮むき間伐体験

- ▶ 2024年度に行う大規模な間伐の対象樹木について、伐採のお手伝いとして、木の皮むき体験を行いました。
- ▶ 樹種により皮の厚さや質感、剥がれやすさが異なることや、木の香りなどを感じました。
- ▶ 皮むき処理を行うと、数ヶ月から1年程で樹木は徐々に枯れていきます。これにより、以前は木陰で日差しが届かなかった場所にも日光が当たるようになり、新たな芽吹きが促進されます。

2. フィールドワーク

- ▶ 2019年度から園内の樹林地で大規模な間伐（伐採・剪定）作業を実施しています。2023年度には町田第2小学校側の斜面地で実施し、より明るく日が差し込みやすい環境になりました。
- ▶ フィールドワークでは、玉川大学の講師の説明を聞きながら、クサギの香りを嗅いだり、伐採した樹木の切り株から新たに芽が出ている様子を観察したりしました。
- ▶ 伐採した樹木にはナラ枯れ被害や老木化に伴う心材腐朽が確認できました。
- ▶ 明るい樹林地が確保されると新しい植物の芽吹きにも繋がり、多様性のある環境づくりに寄与します。

ワークショップは
今後も継続予定！
これまでの取り組みと
お知らせは市HP
をご覧ください♪

